



特集

次世代へつなぐ価値あるもの

明治中期から始まり、100年以上の歴史を持つ精霊船流し。精霊船流しは、先祖の霊を精霊船に乗せ、送り出す伝統行事だと知られていますが、その他にも世代間が交流できる貴重な場であり、また、人間力の成長にも大きく関わっています。今回の特集では、精霊船が初めて造られたとされる美田・船越地区での活動などを紹介いたします。

歴史背景や今後の課題

お盆には先祖の精霊が帰ってくるという信じられてきました。

これを迎えるため、8月13日になると仏前を飾りお供えの団子（迎え団子）が作られ、家族そろってお墓に参ります。

お盆最終日の16日、西ノ島町では、先祖の精霊が精霊船（シャーラ船）に乗り、西方浄土へと旅立って行くと言われており、精霊船を造り、送り出します。

明治中期以前は、お盆が来ると先祖の霊とは別にホーケ棚を家の軒先につくり、無縁仏を祭っていたが、精霊送りの時にはホーケ棚も一緒に家の前から海岸に流したため、集落付近の海岸には供え物が流れ着き、流れ着いた供え物を子どもが拾って食べ疫病が流行したと伝えられます。そのような事態を防ぐため、船越万福寺のご住職が、大きな精霊船を造り、

精霊船にお供え物を積んで沖まで持って出て流すことを考案したとされています。

そして、現在では、美田・浦郷地区ではその行事を「シャーラ船流し」と呼んで古くから大切に守ってきました。

シャーラ船は杉と竹、麦わら等で作られ、帆のかわりに「南無阿弥陀仏」などと書かれた色とりどりの盆旗を沢山飾り付けます。

中学生からお年寄りまでたくさん人の手によって作られた船は、見送る人たちのご詠歌に送られながら先祖の精霊を乗せて、海に流されていきます。

現在は、西ノ島町の夏の風物詩となっており、各メディアに取り上げられ、沢山の見物客で賑わいます。

しかしながら、近年は造り手の減少や環境面への影響、材料の不足といった問題が重なり、今後の精霊船の在り方を検討する地区も増えてきました。



4



2



5



3

①組上がった精霊船を大人約30人で海に降ろす様子。②太鼓の音にあわせ盆歌を歌いながら、地区内を回る、「ヤーハトナー」③精霊船の象徴である象鼻。渦の真ん中には「佛」の文字。④帰省されたお孫さんと盆旗付の共同作業。伝統行事に家族で参加が出来るのも魅力の一つです。④精霊船は、地区の方々のご詠歌によって送り出されます。



船越副区長
道野 晋一さん

「前の年の中学3年生から引き継がれた設計図を基に新たな設計図を作成し、船を造る。また、精霊船を造るための費用の管理も前の帳簿を参考に、自分たちで行っていた。そのような経験は、自主的に組織を運営する術が学べ、金銭感覚を養うのにとっても良い、教材だった」と話されます。

当時は、材料の運搬作業や技術を要する

インタビュー
Interview

精霊船流しには、使命感を持つことが大事。

小学生の頃から精霊船造りを行い、現在も区長、副区長として精霊船流しに深く携わっている竹谷実さんと道野晋一さんは、「精霊船流しには、使命感を持って取り組むことが大事。先祖を敬う気持ちがあり、先祖の霊を送り出す船を造るという行いに、地域の連携を感じる」と言われます。お二人が中学生の頃は、中学3年生を筆頭に、小中学生の男子数十人で精霊船を作製しておられたそうです。

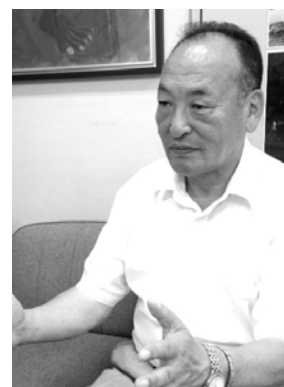
「前の年の中学3年生から引き継がれた設計図を基に新たな設計図を作成し、船を造る。また、精霊船を造るための費用の管理も前の帳簿を参考に、自分たちで行っていた。そのような経験は、自主的に組織を運営する術が学べ、金銭感覚を養うのにとっても良い、教材だった」と話されます。

作業（象鼻造り）以外はすべて子どもたちの手で作られており、精霊船を造る費用も自分たちで集金し、如何に支出を抑えて作業をするか計画を立てていたそうです。

一から十まで自分たちの手で作られた精霊船には誇りがあり、自然に先祖を敬う意識も養われていったと窺えます。現在は、少子高齢化の影響から、以前のよう

な造り方が行えないのが現状で、大人が中心となり、子どもたちが手伝って精霊船が造られています。「精霊船造りには歴史があり、初盆を迎える家や地区の方々にとつて、とても重要な伝統行事なので、子ども達には、そのような意を学び、精霊船に誇りを持って、行事に参加して欲しい」と子ども達へ、行事に向かい合う姿勢について述べられました。

また、大人も作り手が減少してきており、以前は自前で調達出来ていた小麦藁の入手も困難となっているなど材料不足の問題、精霊船の流す場所の問題等課題があります。が、「課題に向け、地区や行政と話し合い、今後も精霊船流しが行えるよう様々な方法を考えていく」と強く語られました。



船越区長
竹谷 実さん